

# 会 議 録

1. 会議の名称 令和3年度第1回協働推進委員会
2. 開催日時 令和3年10月14日（木）19時00分～21時00分
3. 開催場所 熊取町役場北館3階大会議室
4. 議題 (1) 住民提案協働事業制度「団体提案型」の公開プレゼンテーション  
① Market Kumatori  
② 日本一動物に優しい街、熊取町プロジェクト  
③ Viento Kitchen（子ども食堂）  
(2) 委員会判定会議（非公開）
5. 公開・非公開の別 一部非公開  
【一部非公開の理由】 委員会判定会議については、提案事業の採択・不採択の審査の公正かつ適切な意思決定を担保するため、当該情報は審議会等会議公開指針第3条第1号に該当すると判断し、非公開とした。
6. 傍聴者数 7人（一般）、8人（事業所管課）
7. 審議等の概要 (1) 住民提案協働事業制度「団体提案型」の公開プレゼンテーション（3団体）  
実施にあたり、審査基準を確認のうえ、審査結果は町に提言を行い、町が事業実施の可否を決定後、後日郵送で通知することを説明した。  
その後、委員と提案者による質疑応答を実施した【別添参照】。  
(2) 委員会判定会議（非公開）  
【審議結果】  
上記①～③の「団体提案型」の提案について、採択となった。
8. 会議の情報 名称 協働推進委員会  
根拠法令等 協働推進委員会規則  
設置期間 平成22年12月7日～  
所掌事項 住民提案協働事業の審査等及び協働のまちづくりの推進に関して町長から意見等を求められた事案に対する協議・検討及びそのほかの協働のまちづくりの推進に関すること  
委員数 6人
9. 担当課 企画経営課

## 令和3年度 第1回協働推進委員会 (R3.10.14)

### ■ 「団体提案型」公開プレゼンテーション 提案団体に対する委員からの質疑応答の要点

#### □ ① Market Kumatori

提案団体：Market Kumatori

##### 【質問】 委員

- ・団体の構成員は5人ですが、運営は大丈夫ですか。

##### 【回答】 提案者

- ・今現在も、アイスクリーム、コーヒー、ハンドメイド雑貨の3店舗が集まって“間借りカフェ”というイベントをしており、その3人がメンバーに入っている。この3人だけで、他の地域のマルシェなどのイベントにも定期的に参加しており、各々つながりがある。この事業の実施が決まれば、それぞれのメンバーのつながりある方々にお声がけし参加を募る予定であり、25店舗はむしろ少ないと想定している。また、1か月に1度の間借りカフェの集客については、4時間の営業で各店舗で相応の売上げがあるので、今回の集客にも自信がある。以上から、メンバーに関してはすぐに集まると考えている。
- ・25店舗については、イベントのカラーをつくるのが大切なので、最初は公募で募るのではなく選別したいと考えている。

##### 【質問】 委員

- ・とてもおいしいと聞いています。イベントカラーや特徴は必要ですか。

##### 【回答】 提案者

- ・25店舗については、何かひとつきっちりこだわったお店としたいと考えている。それによって、イベントの質があがり、質の高いイベントを熊取町でやっていることが知られ、あんなおしゃれなイベントをしている町に住みたいというようなマーケットにつながればと考えている。
- ・私はUターンですが、ワンダーフォレストというイベントに参加して、町内でこんな素晴らしいイベントが行われているんだという感銘を受けた。このイベントもコロナの影響で開催が難しい状況だが、規模を縮小してでも素晴らしい質の高いイベントを定期的にしていくことが大切だとの思いから提案した。

##### 【質問】 委員

- ・この制度は、5年のうちに3年（回）補助金を受けることができることとなっているが、3回の制度を活用後において、揃えられた備品などを使って、事業を継続する意思はあるか。現時点の考えはどうか。

##### 【解答】 提案者

- ・もちろん継続していきたいと考えている。また、将来的には補助金を使わずに、自分たちの力でお金を生み出せるイベントになっていくことが理想と考えている。補助金で作成した幟などの備品は大切にに使わせていただいた上で、今後は出店料であるとか警備員についても考えていく。

## □ ① 日本一動物に優しい街、熊取町プロジェクト

### 提案団体：特定非営利活動法人しっぽのごえん

#### 【質問】 委員

- ・ペットと共に過ごすことが介護の面でとても重要になっており、世界的にはロボットに代えるなど色々な取組もあるが、その趣旨には大賛成である。一方で、提案者をご指摘のとおり、マナーの問題が身近にあることから、信頼を得るためにマナーの啓発を取組内容に入れていることはよいことだと思う。

#### 【回答】 提案者

- ・マナー啓発については、できれば自治体の防災訓練のときにドッグトレーナーに参加してもらい、盲導犬のトレーニングの紹介をするなど、少しでも飼っていない人も含めて動物を好きになってもらえるような熊取町にしていきたい。

#### 【質問】 委員

- ・動物が好きな人と嫌いな人がいる中で、強制していくことは難しいと考えている。例えばアレルギーを持っている人に対する配慮や考え方について教えてください。

#### 【回答】 提案者

- ・先ほどお話のあったロボットがあるように、私たちとしても、例えばペット防災に関して避難のときに必ずしもペットと一緒にという選択肢だけではなく、分散避難や、友人などに預けられるところを事前に見つけておく提案など、地域や避難所の状況に応じた形で自助公助の考え方を進めていけるようなペット防災の啓発の仕方も考えている。

#### 【質問】 委員

- ・この取組のノウハウはどのように取得されているか。

#### 【回答】 提案者

- ・私は獣医師である。また、大学において、医療面接という飼い主に寄り添う診察の進め方に係る授業を担当している。その授業において、模擬飼い主役を設定して診療の実習をしているが、協力いただいているドッグダンスのトレーナーや R. E. A. D プログラムを既に実施している方など、私を含めて資格や経験がある者から始めていく。まずは安全確保が優先と考えている。

## □ ③ Viento Kitchen (子ども食堂)

### 提案団体：Viento Kitchen (子ども食堂)

#### 【質問】 委員

- ・この子ども食堂は、会社の中の取組の一環として行うのか。

#### 【回答】 提案者

- ・会社とは別に、Viento Kitchen として私が代表となり実施する。会社の事業とは別に行う。

#### 【質問】 委員

- ・株式会社の形をとると普通は営利が基本になるが、切り離れた形でボランティアとして実施するということですね。

#### 【回答】 提案者

- ・はい。

**【質問】 委員**

- ・ 目的は、食べるのに困っている人に手助けするということではないという理解でよいか。利用を広げていくということだがターゲットはどこになるのか。

**【回答】 提案者**

- ・ ターゲットは、情報不足やコミュニティー不足になっている子どもや保護者である。基本の支援は、コミュニティーづくりや活動を得る場所の提供である。

**【質問】 委員**

- ・ この取組を考えた背景として、地域で問題が深刻になっているという考え方をしているということか。

**【回答】 提案者**

- ・ デイサービスがメインで事業をしていたが、家に引きこもりがちな子どもや福祉サービスがあるということを知らない保護者と関わる機会が多くあったことから、一歩踏み出してもらうきっかけとして、こうしたコミュニティーをつくりたいと考えたところ。

**【質問】 委員**

- ・ 5年間のうちに3年（回）のこの住民提案協働事業制度「団体提案型」の活用ができるが、事業の継続性や展望はどうか。

**【回答】 提案者**

- ・ 6月に始めたところ、人件費が一定程度かかるということがわかった。今後も継続していきたいと考えている中で、ボランティアスタッフが増えてきていることと、協力してくれる企業も集まってきているので、この3年間のうちに補助金を活用して、自立的な事業にしていきたいと考えている。
- ・ 泉佐野市で子ども食堂を営む認定NPO法人の理事も務めており、既に寄付を募った際に手を上げていただいている方々が一定程度いる状況であり、収益の展望として明るいと思っている。